

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 540603	資源ごみ回収補助事業				主管課名	環境課			
	この事務事業 の位置	政策	人と自然が共生する心地よい環境				課長名	小野田 幸男			
		施策	環境と人にやさしいまち								
		基本事業	「3R」の推進								
(1)事業の概要											
資源ごみ回収補助金 ・回収団体に紙類及び古布類について、1kg当り5円補助 ・市内において活動する小中学校PTA・こども会等の営利を目的としない団体に補助						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) …数値は(9)					
						名 称		単 位			
						団体数		団体			
						その指標					
(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		登録申請をし登録後、再利用回収資源を回収することに補助金申請書を提出してもらい、回収量に応じ5円/kgの補助金を交付した。対象品目：新聞紙、雑誌、古布、紙パック、ダンボール									
26年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) …数値は(9)					
市民						名 称		単 位			
						人口		人			
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) …数値は(9)					
ごみの減量化を図る 資源の有効利用を図る						名 称		単 位			
						当該年度回収量 / 昨年度回収量		%			
						再利用資源回収補助事業に係る回収量		kg			
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) …数値は(9)					
リサイクルによる資源の有効利用、再資源化						名 称		単 位			
						再資源化率		%			
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値			
(5)の活動指標		団体	14	14	14	14	14	14			
(6)の対象指標		人	59,141	59,474	60,200	60,800	61,400	62,000			
(7)の成果指標		%	82.2	96.9	101	101	101	101			
		kg	411,179	397,625	400,000	400,000	400,000	400,000			
(8)の結果の成果指標		%	18.18	18.4	18.7	19.4	20.2	20.6			
(10)予算費目	会計	01 一般会計				款	04	項	02	目	01
(11)コスト	年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値				
事業費(決算又は予算額)	単位	2,056	1,988	2,800	2,800	2,800	2,800				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0				
	その他	千円	1,330	1,245	535	535	535	535			
	一般財源	千円	726	743	2,265	2,265	2,265	2,265			
人件費B	千円	377	371	371	371	371	371				
	正職員従事時間×人数	時間×人	100×1	100×1	100×1	100×1	100×1				
	正職員以外の人件費	千円	0	0	0	0	0				
その他費用C	千円	0	0	0	0	0	0				
トータルコストA+B+C	千円	2,433	2,359	3,171	3,171	3,171	3,171				
単位あたりコスト (トータルコスト /(6)の対象指標)	千円/人	0	0	0	0	0	0				
	千円/										
	千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 540603 資源ごみ回収補助事業		
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 平成10年度 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？	
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ ごみの減量化と資源の有効利用を目的とした積極的、自主的な集団活動による資源ごみの回収の推進を図る。	・資源ごみを回収し、再利用することはとても大切なことであるが、回収した資源の処理費用の財政負担が年々増加している。	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している 変化している → 変化した内容 資源引取価格の変動。補助金額の変更。		

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 →	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
		自治事務 →	根拠法令	みよし市資源ごみ回収推進に関する補助金交付要綱		
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく →	理由	この事務を行う根拠又は理由	ごみの減量化と資源の有効利用は廃棄物行政の大きな課題であり、そのためのひとつの解決策といえる。	
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 → できない → 縮小 →	内容			
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 → できない → 拡充 → 絞込み →	内容			
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい → 多少影響がある → 影響はない →	理由又は内容			
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる → できない →	理由又は内容		現在、登録団体は小中学校PTA、子ども会等であるが、登録団体の増加により成果の向上が見込まれる。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある → 庁内事業 → ない → 庁外事業 →	類似事業名	類似事業との再編の可能性	ある → 内容 ない	
	効率性	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある → ない →	内容		
		(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある → ない →	内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 → ない → 検討が必要 → 受益者がいない	内容		引取価格の変動により、今後引取価格を助案した補助金額を設定する必要がある。	

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
		・ごみの減量化及び資源の有効利用を推進するとともに、市民の資源ごみ有効利用に対する認識を深め、ごみの分別収集並びにリサイクル運動(資源再利用)の普及を図る。					